

# こころざし

発行・編集  
深谷市教育委員会  
〒366-8501 埼玉県深谷市仲町11-1  
TEL:048-572-9578 FAX:048-580-3260  
E-mail gakko@city.fukaya.saitama.jp

## 立志と忠恕の深谷教育 ~未来を拓く人づくりを目指して~

深谷市教育委員会  
教育長 片桐 雅之

深谷市は令和8年度、市制21周年という新たな節目を迎えました。渋沢栄一翁の肖像が描かれた紙幣発行から2年が経過しましたが、今もなお栄一翁ゆかりの地として、深谷市は全国から注目を集め続けています。そして、栄一翁が生涯大切にされていた立志の精神と忠恕の心は、変化の激しい現代社会においても人々の確かな道しるべとして、その価値を増しているものと捉えております。

深谷市教育委員会では、この栄一翁の精神を現代に受け継ぐ「立志と忠恕の深谷教育」を推進しております。「立志(夢とこころざし)」と「忠恕(まごころと思いやり)」の精神は、子供たちが心身ともに健やかに成長し、充実した人生を送るための礎となる普遍的な価値であると捉えております。そして、この精神こそが「第3期深谷市教育振興基本計画」の根幹をなすものであり、私たちは常にこの理念を念頭に置きながら、教育活動を展開しております。

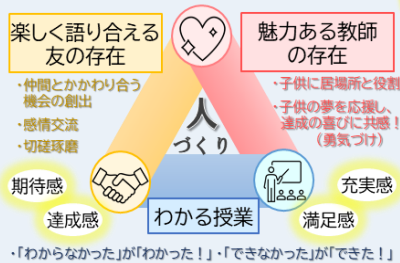
また、昨年度より「人とかがわり合い、人と響き合う『人づくりプロジェクト』」を立ち上げ、「ふるさと深谷が大好きな子供たち100%」を目標に取り組を進めてまいりました。今年度もこのプロジェクトを継続・発展させ、一人一人の多様性を尊重し、共に学び合う教育の実現に向けて邁進してまいります。国の第4期教育振興基本計画で示されている「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の理念は、まさに深谷教育が目指す方向性と合致するものです。子供たちが「自分は大切な存在である」と感じ、「安心して挑戦できる」環境で、「仲間と学び、成長する喜び」を実感できる教育の実現こそが、私たちの使命です。

時代が変わっても、守り続けるべき「不易」と、時代の変化に応じて柔軟に変えていく「流行」を的確に見極めながら、深谷市の宝である子供たちが、自らの力で輝かしい未来を切り拓いていけるよう、教育委員会一同、全力を尽くして取り組んでまいります。

## 人とかがわり合い、人と響き合う「人づくりプロジェクト」(2年目)

「魅力ある学校」づくりを進めます！

### 「魅力ある学校」とは

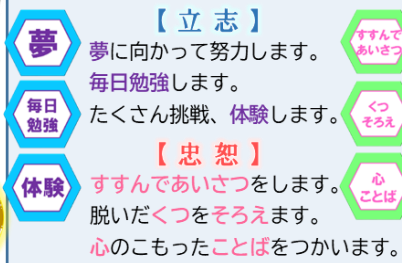


### 大切にしたい6つの“つながり”



大人が手本となって「深谷の子6つの誓い」を推進します！

### 深谷の子「6つの誓い」



01 確かな学力  
～基礎・基本の徹底～

- 学力向上検証 (GKT)
  - 標準学力検査の活用
  - ふっかちゃん夕焼け計算道場
  - ステップアップレッスン
  - こころざし深谷教師塾
- つまずきの早期発見・解決  
教職員指導力向上

02 豊かな心  
～体験活動の充実～

- 「6つの誓い」の実践
  - 夢と感謝の思いを綴る
  - 「栄一翁みらい宣言」
  - 高齢者にまごころを伝える「まごころ訪問」
- 課題に向けた目標設定・実践  
地域との絆づくり

03 健やかな体  
～健康維持・体力向上～

- 民間プール活用の水泳学習
  - 消防と連携した「着衣泳」「ジュニア救命講習」の実施
  - 部活動の地域展開の推進
- 安全で効果的な水泳授業  
スポーツ・文化芸術活動の充実

04 自立する力  
～社会的な自立に向けて～

- 立志の会
  - こころざし未来塾 (国際・科学・防災)
  - 中学生が職業を体験する「社会体験チャレンジ」
- 成長への気付きや未来への展望  
地域社会とのつながり

05 ふるさと教育  
～「立志の精神」と「忠恕の心」を育み、持続可能な深谷のまちづくりに貢献できる人材育成～

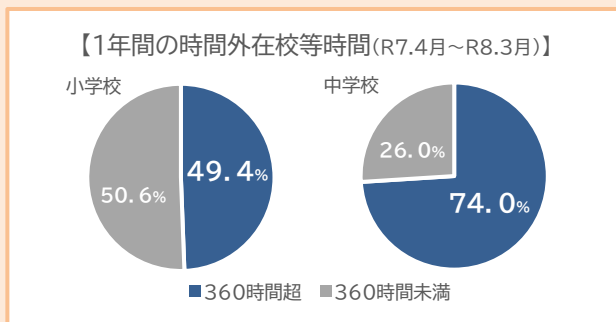
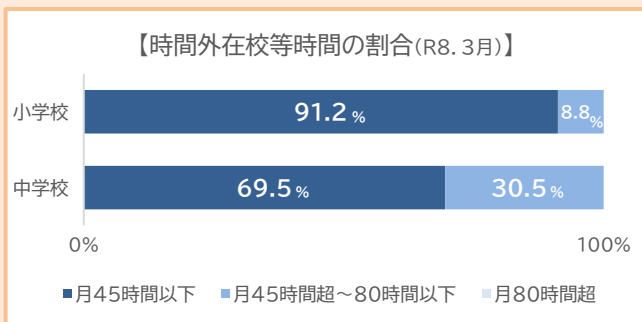
- リモート発表交流会 (小学校)
  - まちづくりコンペ (仮称) (中学校)
  - 栄一翁ゆかりの人物オペラ鑑賞 (中学校)
  - 渋沢翁語らいの日 (小中学校)
  - 「ふかや こころざし人物伝」の発刊 (小中学校)
  - 「ジュニアボランティアガイド」(希望者)
- 社会参画意識の醸成、表現力・コミュニケーション能力の育成、深谷ゆかりの人物からの学び、深谷のよさを再発見・再認識





教職員が子どもたちに全力で向き合えるようにするため、「働き方改革」をさらに加速化させます。

〈教職員の勤務状況〉



〈深谷市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画〉

概要

(1) 目標

- ①時間外在校等時間に関するもの
  - ・月45時間以内の教育職員の割合**100%**
  - ・1年間の時間外在校等時間の**月平均時間30時間程度**
- ②ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関するもの
  - ・年間の年次有給休暇の平均取得日数を**13日以上**
  - ・ストレスチェックにおける高ストレス者の割合**10%以内**



(2) 期間 令和8年度から令和11年度

〈働き方改革を進めるための環境整備〉

【教育委員会】	【学校】	【地域・保護者】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状の「見える化」</li> <li>○地域や保護者への周知</li> <li>○学校への伴走支援</li> <li>○部活動地域展開の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務の精選・見直し</li> <li>○学校経営全体での取組 (学校運営協議会 学校評価の活用 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校との連携・協働</li> <li>○教職員とのよりよい関係づくり</li> <li>○行事等の精選への理解</li> </ul>

学校へのご理解・ご協力、いつもありがとうございます。  
子どもたちへのよりよい教育の実現のために、引き続き学校へのご協力をお願いします。

業務量管理・健康確保措置実施計画

深谷市教育委員会 業務量管理



子供たちの「やってみよう！」を応援

ラーケーション制度(ふっかデー) 開始！

ラーニング(学習) + バケーション(休暇)  
～ 平日に広がる実体験を通じた新たな学び ～

深谷市教育委員会では、児童生徒が保護者とともに  
平日に校外で体験・探究活動などを行う日を、  
「欠席扱いにしない日」とする新制度として  
「ラーケーション(ふっかデー)」を導入します。  
ぜひ、お子様と貴重な時間をお過ごしください。



ラーケーション(ふっかデー)の概要

<p><b>実施期間</b> 令和8年6月～令和9年2月末</p>	<p><b>対象</b> 深谷市立小・中学校に在籍する児童生徒</p>
<p><b>実施場所</b> 各家庭で計画する校外活動 (市・県内外を問わない)</p>	<p><b>取得日数</b> 年間最大3日(各学期1日) ※連続での取得はできません。</p>
<p><b>活動内容(例)</b> ・施設見学 (公共施設・工場) ・文化体験 (博物館・美術館) ・自然体験</p>	<p><b>実施方法</b> 実施希望日の1週間前までに、 学校に申請書を提出</p>

申請の流れ

<p><b>1 計画を立てる</b> 「いつ・どこで・何を学ぶか」を計画します。</p>	<p><b>2 申請書の提出</b> 「申請カード」を学校へ提出します。</p>	<p><b>3 アンケート回答</b> 実施後、保護者はアンケートに回答します。</p>
--	--	--